

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・避難所におけるアセスメント管理方法の変更（宇城拠点）：段ボールベッドの配置番号による管理から「氏名（個人名）」による再調査・再管理へ切り替えることを決定。（配置番号でアセスメントを管理していたが、避難者が空いた場所へ勝手にベッドや部屋を移動する事例があり、番号での管理が困難になったため）。
- ・支援ケース情報集約シートの導入・運用：DWAT/DCATとしての活動成果を記録・集約する「ケースまとめ表」の運用方針を確定。現場の過度な負担にならないよう配慮の上、最速で火曜日からの入力・運用スタートを目指す。
- ・個別支援案件の引き継ぎ・対応終了判断（宇城拠点）
 - ・小川防災拠点：震災のフラッシュバック・パニック症状がある5歳児について、日赤チームからDPAT（災害派遣精神医療チーム）へ引き継ぎを調整・決定
 - ・小野部田小学校：高次脳機能障害の疑いによる大声の報告があった避難者について、家族との喧嘩が原因であり継続的な問題ではないと確認されたため、本件のフォロー対応は一旦終了

■各拠点からの報告 ※特記事項

●本部

- ・派遣スケジュールの整理：各県DCAT/DWATの派遣状況について、1日あたりの必要チーム数・人数が一目で把握できる形式（8月分と同様の形式）で石川県担当（貞弘氏）に作成を依頼中。明日頃に最新版が共有予定
- ・桜ヶ丘別荘案件（DMAT調整）：福祉避難所および「氷川の里」へ分流・受入する想定について、明日、介護福祉士会の石本氏とともに本部及川が現地会議へ参加し現場調整を実施予定

●八代地域

- ・訪問調査の継続：各地域包括支援センターエリアに分かれ、要養護高齢者の訪問調査を実施中
- ・個別案件・交替対応：鏡コミセンにて徘徊症状のある避難者が発生しており、個別避難所や施設入所の必要性を検討・対応中。本日4チーム交替のため確実な引き継ぎを実施
- ・ボランティアセンター・施設確認：八代市ボランティアセンターと連携したニーズ調査を同時進行。福祉避難所および福祉施設の稼働状況を確認中

●宇城地域

- ・チーム交替と調査：本日広島県チームが交替。小川防災拠点等でアセスメント票の聞き取りを実施
- ・JRAT連携：介護保険適用者への福祉用具レンタル手続き支援方針について、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援チーム）と情報共有を実施

● 氷川地域

- ・ 移動・移送準備： 翌日に控えた「氷川中学校」への移送、および福祉避難所から氷川中学校へ移行する避難者の受入・移送準備、不安解消のケアを実施
- ・ 受入体制の整備： 竜北西部小・竜北東小から氷川公民館へ移受入予定の避難者 9 名のアセスメント情報を基に受入体制を構築中。25 日に公民館のレイアウト変更を予定。

● 全体

- ・ 「子どもの心のケア」に関する情報や「精神科病床の空き状況」などの各種情報を共有完了

■共有事項・確認事項

●聴覚障害のある避難者の支援およびボランティア手配状況の確認

- ・ 宇城拠点（小川防災拠点センター）の聴覚障害のある避難者について、ボランティアを介してアセスメントを実施済み
- ・ 避難者本人から「ボランティア利用申請の進捗状況が分からない」と相談があったため、受付・手配状況の確認を行う

●ケース集約シートの入力方針

- ・ DWAT としての活動成果を残すために重要なシートであるため、現場の負担に配慮しつつ各拠点での積極的な入力を推進する。

■今後検討が必要な事項

●ボランティアの業務範囲・役割分担の検討

- ・ 現地調査や支援にあたり、派遣されるボランティアが「どの範囲までの業務・フォローを担当・対応できるのか」の整理・検討が必要
- ・ ボランティアのみでの対応が困難なケースについては、速やかに本部へ相談・協議する体制を構築する。

●避難所の再編・集約に伴う福祉避難所の運用・調整

- ・ 氷川中学校への移送および 25 日の公民館レイアウト変更に伴い、要配慮者の適切な配置およびケア体制の維持・確保に向けた調整
- ・ 桜ヶ丘別荘等の個別案件における DMAT・福祉避難所・各種施設（氷川の里等）との適切な分流・連携プロセスの確立

●中長期的な派遣人員・チーム数の最適化

- ・ 作成中の「日別・チーム別派遣スケジュール」に基づき、今後の必要人数・交代要員を精査し、過不足のない継続的な支援体制を検討・維持する。